

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：交通情報分析（1）	
日付：11月 22日（日）曜日、セッション時間：9：00～10：30	
司会者名（所属）：畠中秀人（国土技術政策総合研究所）	
討 議 内 容	セッション全体： タクシー車両のプロープデータ、GPS+磁気センサ、AVI+プロープデータ等、多様な手段による交通行動軌跡、旅行時間等の把握手法について3件の発表がなされ、活発な議論が行われた。これまでのトラフィックカウンタ、AVI、GPS センサ等によるデータ取得から、多様な手段が選択可能となってきたことが感じられた。今後は、目的に応じた適切なデータ取得方法の選択方法についても議論が必要となるのではないかと感じた。
	(175) 三輪富生（名古屋大学） プロープカーの割り当て計画をプロープ情報利用者の損失を最小とするように設定するという点について、損失の公平性の考慮手法等について議論がなされた。また、必要なデータ数を得るための補完方法等についても議論が行われた。
	(176) 多田俊也（千葉工業大学大学院） GPS データと磁気センサデータの統合処理による移動軌跡の補正方法等について、活発な質疑が行われた。
	(177) Babak MEHRAN (The University of Tokyo) AVI とプロープデータを統合することによる旅行時間の推定手法について、推定手法の具体的なアルゴリズム、情報処理のリアルタイム性等に関する質疑が行われた。